

# グループウェア再構築及び運用保守業務委託事業者プロポーザル選定委員会

## 議事要旨

第1回グループウェア再構築及び運用保守業務委託事業者プロポーザル選定委員会		
開催方法	対面会議形式	
開催期間	令和5年4月12日(水) 10時～11時	
案件	グループウェア再構築及び運用保守業務委託に関するプロポーザル実施要領の策定	
出席者	<p>[委員]</p> <p>行政経営部 情報政策室長(委員長)</p> <p>行政経営部 情報政策室参事(副委員長)</p> <p>総務部 秘書課長</p> <p>総務部 人事室参事</p> <p>市民部 市民課参事</p> <p>児童部 保育幼稚園室参事</p> <p>消防本部 総務予防室総括参事</p> <p>[事務局]</p> <p>行政経営部 情報政策室</p>	
<p>議題1 グループウェア再構築及び運用保守業務委託に関するプロポーザル実施要領の策定</p> <p>事務局より配布資料を用いて「グループウェア再構築及び運用保守業務委託事業者プロポーザル実施要領(案)」及び関連資料の説明を行い、以下の議論の結果、決定事項の修正を加えることを条件に実施要領が承認された</p>		
No	意見及び質問	回答及び決定事項
1	実施要領6ページ(審査・選定方法)8(4)エについて、二次審査の内容が明確に分かるようにすべき。	<p>一次審査にて、プロポーザル選定評価部会(以下、「評価部会」という。)による審査結果(審査評価項目No.1～10の採点結果)をプロポーザル選定委員会(以下、「委員会」という。)に報告する。なお、採点結果とは合計点と平均点のことをいう。</p> <p>二次審査については、審査評価項目No.1～13までを選定委員各自で採点いただく。(一次審査の採点を引き継がない。)その際、評価部会の評価点を参考情報として使用し、選定委員自身の裁量で採点を増減させても問題ない。</p> <p>二次審査の方法については、契約検査室に確認済である。上記が明確になるように文言をこれから修正する。</p>

2	一次審査の評価部会には、コンサルタントも入るのか。	想定していない。
3	学識経験者には、プロポーザル実施要領と審査評価項目を確認頂いたのか。	そのとおり。
4	審査評価項目について、実績の配点が低いと感じるが、どのように配分しているのか。	ガイドラインに則り、価格点は全体(300点)の15%程度(50点)としている。残り(250点)については、過去の情報政策室の案件を参考に配分している。
5	実施要領2ページ(参加資格)3(6)に記載の人口30万人とは、いつ時点の人口を指しているのか。	実績を有することを求めているため、各事業者の実績にあげられている業務を履行した時点とする。この点については明確にするために、文言を修正する。
6	選定委員会の所掌事項ではないことは認識しているが、公募前に仕様書を確認して意見を出すことはできるのか。	委員が確認できる状態となり次第、直ちに仕様書を共有する。ただし、情報政策室内の決裁のタイミング次第では、要望を反映できない可能性があるため、御意見のある方は早めにいただきたい。

以上

第2回グループウェア再構築及び運用保守業務委託事業者プロポーザル選定委員会	
開催方法	庁内グループウェア上の電子掲示板への投稿による非対面会議方式
開催期間	令和5年8月31日(木) 10時～17時
案件	1. 評価部会における採点結果の報告 2. 評価部会委員長による総評 3. 二次審査対象者の選定
出席者	<p>[委員]</p> <p>行政経営部 情報政策室長(委員長) 行政経営部 情報政策室参事(副委員長) 総務部 秘書課長 総務部 人事室参事 市民部 市民課参事 児童部 保育幼稚園室参事 消防本部 総務予防室総括参事</p> <p>[評価部会]</p> <p>行政経営部 情報政策室 主幹(部会長)</p> <p>[事務局]</p> <p>行政経営部 情報政策室</p>
<p>議題1 評価部会における採点結果の報告</p> <p>令和5年8月25日(金)に開催した評価部会における採点結果の報告を、部会長の情報政策室主幹から受けた。</p> <p>議題2 評価部会委員長による総評</p> <p>令和5年8月25日(金)に開催した評価部会における採点結果の報告に関する総評を、部会長の情報政策室主幹から受けた。</p> <p>議題3 二次審査対象者の選定</p> <p>グループウェア再構築及び運用保守業務プロポーザル実施要領に基づき、二次審査対象者について事務局から説明を行い、選定委員会による確認を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

第3回グループウェア再構築及び運用保守業務委託事業者プロポーザル選定委員会

開催方法	対面会議形式
開催期間	令和5年9月12日(火) 13時～16時30分
案件	1. 二次審査(プレゼンテーション・質疑応答) 2. 価格審査結果の報告 3. 最優秀提案者及び次点者の選定
出席者	<p>[委員]</p> <p>行政経営部 情報政策室長(委員長) 行政経営部 情報政策室参事(副委員長) 総務部 秘書課長 総務部 人事室参事 市民部 市民課参事 児童部 保育幼稚園室参事 消防本部 総務予防室総括参事</p> <p>[評価部会]</p> <p>行政経営部 情報政策室 主幹(部会長)</p> <p>[事務局]</p> <p>行政経営部 情報政策室</p>

議題1 二次審査(プレゼンテーション及び質疑応答)

事務局より二次審査の時間配分及び質疑応答について説明後、企画提案者の二次審査を実施した。プレゼンテーション後は選定委員会との質疑応答を行った。

A社

	質問(選定委員)	回答(事業者)
1	「SHIRASAGI」がオープンソースのため、開発元会社が事業撤退する可能性を懸念している。そのようなリスクを含めたイニシアティブの取り方を説明してほしい。	<p>利用実績として、自治体12団体ほど、民間50団体ほど導入がある。またオープンソースのため、全体で100団体ほどの利用がある。運用実績があるため問題はないと考えている。</p> <p>オープンソースで開発する技術があり、IT企業として技術者人材があるため、開発元が撤退しても依存せず対応はできる。</p> <p>より良いサービスを利用してもらうために利用者コミュニティに積極的に参加し、我々主体でより良いものを吹田市へ提示する形</p>

		で、イニシアティブをとっていく。
2	Z市への導入実績として「マイクロソフト365」を記載している。吹田市には「SHIRASAGI」の提案だが、「SHIRASAGI」の導入実績はあるか。	Z市の公告情報の中で「M365」を既に構築しており、有効活用していきたい、オンラインを活用していきたい、という要望に合わせ、構築した。 自治体によって悩み異なるため、個々に悩みにマッチした提案が肝だと考えている。「M365」が得意パターンである必要はなく、ニーズに合わせて変化していくもの。 5年間程度使い続けるに当たり、同じ費用内でサービスをアップデートできること、最新サービスを活用できることが、オンプレのサービスと比較し、強みと考えている。 自治体で良く言われている「ローカルブレイクアウト」により、新たなインターネット通信が発生する。自治体の情報を守る点としては、(Z市と)相通じるものなので、しっかりしたいと考えている。
3	「SHIRASAGI」の利用は無料か。そもそも、「SHIRASAGI」をオープンソースで作る目的、コンセプトは何か。	無料。 全国の中小企業に、パッケージソフトとして使ってほしい、都心部の大手事業者のソフトをもってきて淘汰されている世の中を変えていきたい、無償で公開することで、地方を活性化させたい、という思いを持っている。
4	他のグループウェアはアカウントによる料金体系がある。「SHIRASAGI」はアカウントの増減での費用変動はあるか。	当初予定のサーバの容量が変更なければ、アカウントによる費用変更はない。
5	人事異動時等において、人事システムからのユーザ情報を今はファイルレイアウトを各システムへ充てる機能をもっている。そのような対応はしてもらえるか。	「SHIRASAGI」は一括でCSV読み込みする仕組みがある。データを提供していただくことで対応可能。
6	ユーザファイルのレイアウト変更作業も対応可能か。	対応可能。

7	<p>色々な機能を改善し、リリースしているとホームページに掲載していた。その中でチャット機能も追加すると記載があった。</p> <p>どんどん機能追加してもらえるのか。</p>	<p>協議を重ねながら、吹田市が必要な機能追加対応は可能。</p>
8	<p>導入実績の Z 市について、「SHIRASAGI」の導入実績とは「グループウェア」の導入実績か、「SHIRASAGI」を利用した何らかの実績なのか。</p>	<p>Z市は「グループウェア」の実績として提案書に記載している。</p> <p>「SHIRASAGI」は「CMS（ホームページ管理システム）」、「グループウェア」、「Web メール」のアプリケーションがあり、「CMS」の導入実績としては 5,200 以上。自治体の導入実績は 50 以上。</p> <p>あくまでグループウェアの実績と合わせて記載している。</p>
9	<p>P14「よくある質問」をいただけるということだが、どれだけ「よくある質問」は蓄積しているのか。</p>	<p>既存の FAQ 数は約 200 件。他の自治体特有の内容もあるため、共通的なものを提供する。Z 市でも同様。共通的なものを、納品物の協議の中で決めたい。</p>
10	<p>P29「予約検索」は 1 時間単位か。</p>	<p>分単位で可能。検索後の表示時点ではわからない。</p> <p>予約一覧では、施設を指定すると「15 分単位なのか」が判断できる。</p>
11	<p>P8「データセンタ」について、要件一覧の非機能要件 P5 には「データセンタ倒壊迄の大規模災害時は 1 週間の復旧は確約不可」とある。壊滅的な被害で 1 週間以内の復旧は可能か。「ティア 3」は避難所に該当する施設のようなので、一般的な災害は対応可能と考えてよいか。</p>	<p>可能と考えてよい。</p> <p>データセンタも震災後に作られた新しい施設である。安心して頂きたい。</p>
12	<p>過去にスケジュールどおりいかなかったり、大きな課題が浮上したりしたことがあったか。</p> <p>その場合、どういう対応をしたか。</p>	<p>Z 市の場合 DX の加速要望もあり、グループウェア導入だけでなく、アプリケーションも追加した。</p> <p>本件に関してはスケジュール遅延が発生した。対策として、まず増員した。また市とライセンス調達等を担う他事業者とのやり取りについて、都度助言することで遅延を解消した。また即時対応しないといけないもの、後回しで問題ないもの、といった作業の優先順位を明確化した。</p> <p>関連する次工程は必ず遅れるため、工期の再</p>

		<p>設定を実施した</p> <p>800 行程度の WBS を全て精査し、年度単位で予定どおり完了した。</p> <p>吹田市でも、密なコミュニケーションで頑張りたいと考えている。</p>
13	<p>スマホアプリの使用感について、操作が難しいと利用できないと思うが、どうか。</p>	<p>「SHIRASAGI」はブラウザで利用。</p> <p>スマホではアプリ上で動作し、ワンタイムパスワードを利用するログイン ID、パスワードも含め、二要素認証となる。</p> <p>手順書も提示するので安心して頂きたい。</p>
14	<p>「読上げソフト」は視覚障がい者の利用を想定している。カスタマイズなどの手段で対応できるか。</p>	<p>新機能に関しては、吹田市との協議の上で進めたい。</p> <p>読上げ機能については、今後の動きの検討段階。吹田市の要望で開発する場合、時間がかかるが対応したい。</p> <p>API 連携等で実現できる構成を考えており、全力で対応していく。</p>
15	<p>「スケジュール管理」の「データ出力」の制限はあるか。</p> <p>「件名」「開始日」「開始時刻」「終了日」「終了時刻」「内容」「場所」の7つ全てを出力できるか。</p> <p>「移動時間」や「ブッキング」の入力について、費用追加はあるか、また、どういう機能なのかを聞きたい。</p>	<p>基本的に出力制限はない。</p> <p>一般的な情報なので出力できると思うができない場合はカスタマイズする。</p> <p>カスタマイズに追加費用はかからない。</p> <p>移動時間の枠は自動的に前後に設定できる。</p> <p>ブッキングは権限を設定するかどうかで動きが変わる。運用に合わせて検討。</p>

## B 社

	質問（選定委員）	回答（事業者）
1	<p>機能要件一覧の「スケジュール管理」の「移動時間」については、カスタマイズでも対応が難しいとのことか。</p>	<p>できる限りカスタマイズしない前提で提案している。</p> <p>必須要件の場合は相談の上、決定する。パッケージでは移動時間を含み入力する。また移動時には車など、マークが表示され、打合せ予定なのか、移動予定なのか、明示できる。</p>
2	<p>機能要件一覧の「スケジュール管理」の CSV の更新スケジュールの抽出の件数や期間の制限はあるか。</p> <p>「時間」「内容」「場所」等、項目の抽出に制限はあるか。</p>	<p>件数や期間の制限はない。</p> <p>データあれば全て対象にできる。</p> <p>項目にも制限はない。</p>

3	<p>追加の資料のアクセシビリティについて、視覚障害者向けの読上げソフトについて、ソフトとしては対応していないが、利用者が使われている場合もある。</p> <p>カスタマイズ的な対応をしてもらえるのか。</p> <p>画面表示されたものを読上げる運用は想定しているか。</p>	<p>現状は未対応。</p> <p>自治体の中では、2か所の都道府県庁が読上げソフトを利用している。</p> <p>シンプルなテキストはある程度読上げるが、（提案内容を映した画面指しながら）このようなところは精度が悪い。</p> <p>例えばスケジュール表では、1日のスケジュールをリスト表示する機能があるため、これらを活用し、積極的に提案したい。</p>
4	<p>庁社外からスケジュールの確認ができるようなスマホ利用について</p>	<p>2つ提案している。</p> <p>1つは規模が多い機能。自治体での実績もあるが、連携するサーバとの通信が発生する。更新可、かつ実績ありのため提案している。</p> <p>もう1つは独自に作るパターン。公開サーバの多数の運用経験から、サーバへのアクセスで、その腕でメンタリングし、連携ではなくウェブブラウザとして、カレンダーを表示させるものをイメージしている。</p>
5	<p>多数の自治体等の経験の中で、スケジュールとおり進まなかったとか、大きな課題がでてきたことがあったか。</p> <p>そのような場合、どういう対応されたのか。</p>	<p>スケジュール遅延の経験がない。</p> <p>短期間構築の場合、平行作業できるものは並行して行う等して対応する。</p> <p>要件定義において、お客様要件がまとまらないケースはよくあるが、ココは決めないといけないという部分を絞り、柔軟な対応を後で行うことで対応している。</p>
6	<p>P17の「タイムカード」とは、システムに入れば出勤と、出退勤を管理するという機能なのか。タイムカードは廃止できるのか。</p>	<p>打刻機能、参照機能がある。</p> <p>全職員の管理を管理者が行いたいというときに使うもの。ただ既に別で抱く機能を導入済みというケースが多く、利用自治体は少ない。</p>
7	<p>カスタマイズは無し、という話があったが、吹田市の要件は全て対応可能か。</p> <p>カスタマイズを行うと、サポートが受けられなくなるというところを我々は懸念していると思う。</p>	<p>シングルサインに関する部分のみ、カスタマイズを予定している。</p>
8	<p>P46の役割分担の中の「操作説明」について、吹田市側が担当になっているのは、どういうことか。</p>	<p>操作説明は弊社で行う。ただし研修の参加及び操作学習は吹田市が主体となる。そのため、吹田市と記載した。</p>

9	人事異動があった際に、人事システムからデータをもらい、グループウェアに取り込む共通のマスター管理のシステムを利用している。その他のシステムを使用するに当たって、それ（職員ユーザ情報）を、グループウェアを通じて作っている。そういった対応ができるか。	人事システムから提供するデータをグループウェアで取りまとめていると考えている。 データを「アダムズ」に提供し、自動で各システムに展開するような作り方ができる。
10	$\alpha$ モデルから $\beta$ 、 $\beta'$ に移行する場合、対応できるか。	できる。
11	アップスイートのライセンスの利用料は含んでいる理解で良いか。ローコードツールとして実証実験としてkintoneをつかっている。アップスイートの優位性について説明してほしい。	費用に含む。 サイボウズのkintoneはシステム寄りの作りと、利用されているお客様から聞いている。私もkintoneの方は画面的にも複雑で、直感的でないという印象。 アップスイートはクラウドだけでなくLGWANでも利用できるため、グループウェアでも利用可。 優位性は重ね重ねとなるが、利用者がわかりやすいということ。現場主導で自分たちが使いやすいものを迅速に作れること。
12	P36 庁外からのスマホによるスケジュール確認の提案のパターン1について、Googleカレンダーとの連携について、Googleのアカウントと庁内アカウントを、どのように連携させるのか。更新を含めてできるとなっているが、自分以外がスケジュールを入れたものとのバッティングを避ける方法はどうなっているのか。	Googleのアカウントをシンクウェア（同期用サーバ）に登録して、グループウェアに連携させる。自動でGoogleのアカウントが生まれるわけではない。 スケジュールは重複して登録可能。特に避けることはしない。

審査後、各委員の審査結果を集計し、報告した。

## 議題2 価格審査結果の報告

事務局より価格を公表し、価格審査結果を報告した。

## 議題3 最優秀提案事業者及び次点者の選定

事務局より価格審査結果を加点した各委員の点数について報告し、最優秀事業者及び次点

者の社名を公表した。

「エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社」を最優秀事業者として決定した。

以上